

一般廃棄物処理基本計画に関する実績等報告書(令和2年度)

(生活文化部環境課)

計画の基本情報

計画期間	H 29 ~ R 2 年度
位置付け	本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項に基づき策定するものであり、第2次亀山市総合計画前期基本計画との関連は、基本施策「低炭素・循環型社会の構築」に関わるものである。
目的・概要	法や条例の目的である「生活環境の保全や公衆衛生の向上」を確保するため、一般廃棄物の適正な処理と減量化、再生利用の推進を図ることを目的とし、今後の本市の一般廃棄物処理に関する基本的事項を示すものである。
計画の骨格	<p>The diagram illustrates the structure of the plans. On the left, a vertical box labeled 'ごみ処理基本計画' (Waste Management Basic Plan) has two arrows pointing to boxes: '清掃・リサイクル事業を取り巻く現状と課題' (Current status and issues surrounding cleaning and recycling activities) and '基本的な考え方と目標' (Basic concepts and objectives). To the right of these are two large boxes containing lists of key points. The top box lists: '人口及び産業の動向' (Trends in population and industry), 'ごみ処理の現状' (Current status of waste management), '現計画の総括' (Summary of the current plan), and '将来予測と主な課題' (Future forecasts and main issues). The bottom box lists: '基本理念' (Basic concept), '基本方針' (Basic policy), '計画目標' (Plan objectives), '目標達成に必要なごみ減量化、資源化の原単位' (Original unit of waste reduction and resource recovery required for goal achievement), 'ごみ排出抑制等のための方策' (Policies for waste emission reduction), '分別収集するごみの区分と種類' (Classification and types of separately collected waste), '排出抑制及び資源化施策後のごみ排出量と資源化量' (Waste volume and resource recovery after emission reduction and resource recovery measures), '排出抑制及び資源化施策後のごみ排出原単位と資源化率' (Original unit and resource recovery rate of waste after measures), 'ごみの適正処理及びこれを実施する者に関する基本的事項' (Basic items regarding proper waste treatment and those implementing it), and 'ごみ処理施設の整備に関する基本的事項' (Basic items regarding facility improvement). Below this, another vertical box labeled '生活排水処理基本計画' (Wastewater Treatment Basic Plan) has two arrows pointing to boxes: '生活排水処理事業を取り巻く現状と課題' (Current status and issues surrounding domestic wastewater treatment activities) and '基本的な考え方と将来予測' (Basic concepts and future forecasts). To the right are two boxes containing lists of key points. The top box lists: '生活排水処理の現状' (Current status of domestic wastewater treatment), '収集・運搬の現状' (Current status of collection and transport), and '処理の現状' (Current status of treatment). The bottom box lists: '基本方針' (Basic policy), '処理の主体及び体制' (Main body and system of treatment), and '今後の予測' (Future forecasts).</p>

成果指標

成果指標名		単位	現状値	実績値 (R2)	目標値
1	1人1日あたりのごみ排出量(家庭系ごみ)	g/ 人・日	722	773	685
2	1人1日あたりのごみ排出量(事業系ごみ)	g/ 人・日	243	177	207
3	資源化率	%	37.0	29.3	42.0
4	生活排水処理率	%	78.2	82.7	84.0
5					

計画の実績等

取組実績	<p>本市は、ごみピット内の組成分析では、一般廃棄物に占める紙類及び厨芥類の割合が高い結果が続いている。このことから、令和2年10月に雑がみ及びその他色びんの分別収集を試行的に開始し、紙類等の資源化推進に取り組んだ。</p> <p>家庭系ごみは、家庭系食品廃棄物組成分析調査の実施により本市における食品ロスの実態把握に努め、ごみダイエットサポーターと協働して3Rによるごみの減量とリサイクルに取り組んだ。事業系ごみは、収集運搬許可業者に対して搬入検査を実施するなど、分別・搬入指導によるごみの減量とリサイクルに取り組んだ。</p> <p>公共下水道事業については、井田川・能褒野処理分区他2処理分区の供用開始区域の拡大を図るため、事業計画に基づいた生活排水処理施設の整備を行った。</p>
成果	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛が影響してか、家庭系ごみの1人1日あたりの排出量は773g(前年度比36g増)と増加し、目標値を達成することができなかった。一方、事業系ごみは同様の理由から177g(前年度比6g減)と減少し、目標値を達成することができた。</p> <p>資源化率は、雑がみの分別収集に試行的に取り組んだものの、ペーパレス化や店頭回収等の活発化により総合環境センターでの紙類の資源化量が著しく減少し、さらに活動団体数の減少による集団回収量の減少等もあり29.3%(前年度比1.5ポイント減)と低下し、目標値を達成することができなかった。</p> <p>生活排水処理率については、井田川・能褒野処理分区他2処理分区の供用開始により、生活排水処理率の向上が図れた。</p>
総合計画 推進への 寄与度	<p>新たな資源ごみとして、雑がみ及びその他色びんの分別収集を試行的に開始したこと、家庭系食品廃棄物組成分析調査により本市における食品ロスの実態把握に努めたことで、今後の市民1人1日あたりのごみ排出量の低減や資源化率の向上に寄与できるものと考えられる。</p> <p>公共下水道事業や農業集落排水事業の供用開始区域内の市民に接続を促したことで、生活排水処理対策の推進に寄与できた。</p>

反省点・課題	<p>紙類の一般廃棄物に占める割合は、雑がみ等の分別収集開始前が49.3%に対し、開始後は29.4%と低下したが、依然として3割程度と高い割合を占めている。</p> <p>生活排水処理については、経済的、効率的な処理方式を選択し、生活排水処理施設の整備を進める必要がある。</p>
--------	--

今後の方向性	<p>家庭系ごみにおける食品ロス削減及び雑がみ等の分別収集を着実に進め、ごみの減量化とリサイクルの推進を図る。</p> <p>生活排水処理施設整備を計画的、効率的に進め、整備された地域において、下水道への接続率の向上を目指す。</p>
--------	---